

2023年7月31日

各位

太陽生命保険株式会社  
代表取締役社長 副島 直樹



## 「太陽の元気プロジェクト」2022年度の取組みについて

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、当社が推進する「太陽の元気プロジェクト」2022年度の取組みについてお知らせいたします。

当社は2014年度より、「シニアのお客様に最もやさしい生命保険会社となる」ことを目指して「ベストシニアサービス（BSS）」をスタートし、シニアのお客様の利便性向上に向け、サービス・商品・制度・帳票・ホスピタリティ等あらゆる面を「シニアのお客様視点」で見直し、改革・改善に取り組んできました。

そして、2016年6月からは、「人生100歳時代」の到来に向け、「健康寿命の延伸」すなわち“健康で元気に長生きする”という社会的課題にこたえるために、「従業員」「お客様」「社会」のすべてを元気にする取組み、「太陽の元気プロジェクト」を推進しています。

「太陽の元気プロジェクト」では、「従業員」が元気になり、「お客様」の元気をサポートし、「社会」の元気に貢献するという「元気のサイクル」を世の中に生み出すことを目指しております。

「太陽の元気プロジェクト」2022年度の主な取組みは以下のとおりです。

### <従業員>

- ・従業員一人ひとりが、高い意識を持って長く元気に働ける環境を構築すべく、健康増進を図るための各種施策を実施しています。2015年より7年連続で大規模法人部門において「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定され、総合順位は4年連続で上位100位以内にランクインしました。

### <お客様>

- ・健康状態に不安のある方でも、簡単な告知でお申込みいただける商品として、「告知緩和型死亡保険」、「選択緩和型先進医療保険」を発売しました。

### <社会>

- ・気候変動への対応として、再生可能エネルギー電力の供給率向上や森林保全活動の推進、ESGをテーマとした投融資を実施するなど、脱炭素への取組みを推進しています。



当社は、これからも「太陽の元気プロジェクト」を始めとする各種取組みを推進することで、SDGsが目指す「持続可能な社会の実現」に貢献していきます。

以上

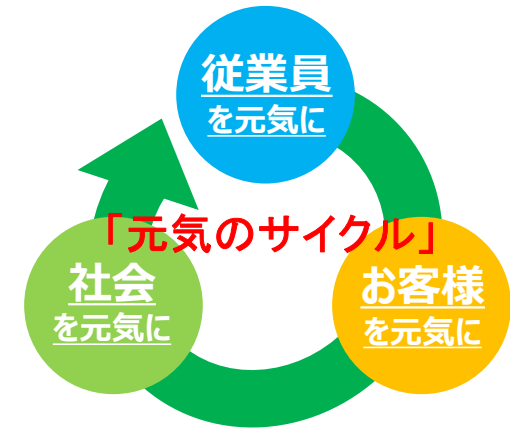


# 1. 「太陽の元気プロジェクト」の取組みについて

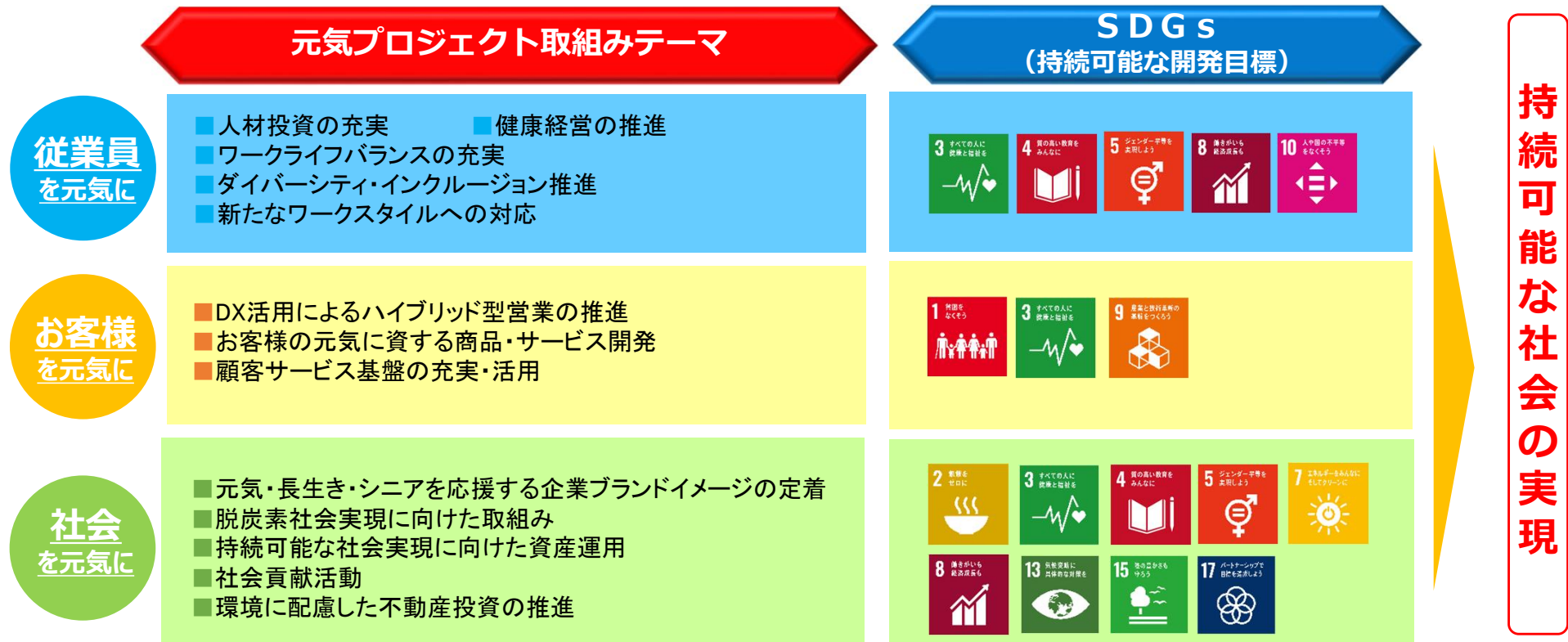
## ■太陽の元気プロジェクトとは

2016年6月より、本格的な超高齢社会、「人生100歳時代」の到来に向け、「健康寿命の延伸」すなわち“健康で元気に長生きする”という社会的課題にこたえるために、「従業員」「お客様」「社会」のすべてを元気にする取組み、「太陽の元気プロジェクト」を開始しました。

太陽の元気プロジェクトでは、「従業員」が元気になり、「お客様」に元気になっていただき、そして「社会」の元気に貢献するための様々な施策を推進しています。



## ■「太陽の元気プロジェクト」とSDGs



SDGs(エスディーゼーズ)は、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)です。2030年までに達成を目指す国際目標のことで、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットで構成されています。

## 2. 「太陽の元気プロジェクト」のこれまでの取り組み

- ・2016年の太陽の元気プロジェクトの取り組み開始以降、サステナビリティを巡る課題への解決に向け多くの施策を実現させてきました。
- ・太陽の元気プロジェクトでの取り組みを通じSDGsが目指す持続可能な社会の実現に貢献しています。

### 太陽の元気プロジェクト

### SDGs (持続可能な開発目標)

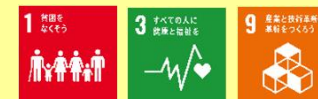
従業員

- 時間単位の通院休暇の導入
- 従業員のAIRS受診
- 在宅・サテライト勤務制度の導入
- 社内完全禁煙の達成
- 65歳定年制度の導入
- 育児参加のための休暇制度の導入
- 介護休業・介護休暇制度の充実



お客様

- 告知緩和型死亡保険、選択緩和型先進医療保険、事故割増死亡保険の発売
- ガン・重大疾病予防保険の発売
- 感染症プラス入院一時金保険の発売
- 認知症予防キャッシュバックサービスの提供
- 認知症予防保険の発売
- シニア訪問サービスの充実（ヤマト運輸との連携）
- 認知症予防アプリの提供



社会

- ESGをテーマとした投融資
- 認知症セミナー・認知症関連学会への協賛
- 「日本医師会 赤ひげ大賞」への協賛
- 30by30アライアンスへの参画
- カーボンニュートラルへの取り組み推進
- 高齢者住宅の開設
- 少子高齢社会研究所の創設



持続可能な社会の実現

～2016年

2017年

2018年

2019年

2020年

2021年

2022年

太陽の元気プロジェクト  
スタート

### 3. 概要（2022年度の取組み・成果）

100歳時代を先取りした最優の商品・サービスをご家庭にお届けすることにより、より多くのお客様の安心で豊かな暮らしを支える保険会社となる

#### シニアトップブランド構築に向けた3本柱

##### 人生100歳時代に適した商品・サービスの提供

###### 社会環境に対応した商品の提供

- 「選択緩和型先進医療保険・告知緩和型死亡保険」発売
- 「事故割増死亡保険」発売
- 「子供医療保険」発売
  - ・ネットチャネル・リモート申込において、契被別人契約の取扱

###### 社会環境に対応したサービスの提供・開発

- 予防検査の受診推進
  - ・支社巡回検診時のMCIスクリーニング検査プラス・アミノインデックス®リスクスクリーニングをお客様に提供
  - ・受診を促すパブリシティ放映・SMS送信

##### ITの活用・業務効率化の推進によって創出したマンパワーを営業・サービスにシフト

###### 内務員による営業・サービスの充実

- 支社LC(ライフカウンセラー)の新たな働き方の確立
  - ・成約件数:2,300件
  - ・挙績率:95.1%
  - ・セミナー開催:87支社
- LC販売チームの創設(2022年度末時点7名)
  - ・ダイレクト情報に対する提案活動により365件の成約
- LCリモートチームの創設(2022年度末時点4名)
  - ・ダイレクト情報に対するリモート活動により401件の成約(9月~3月)
- 専門知識を有する内務員による充実したお支払手続訪問サービスを実施
  - ・かけつけ隊実施件数:今年度27,273件  
累計177,199件

##### デジタルの活用による新しいチャネルの創設

###### ダイレクトチャネルの更なる拡大

- ODXを活用したハイブリッド型営業の推進<スマ保険>
  - ・成約数:48,440件(前年比238%)
  - ・支社連携数:112,235件(前年比177%)
- インフォーマーシャル)
  - ・成約数:32,940件(前年比189%)
  - ・支社連携数:103,765件(前年比167%)
- リモート募集の進化
  - ・成約数:13,693件(前年比282%)
- SMS等を活用した顧客アプローチの充実
  - ・成約数:15,209件(送信数:324,255件)

###### デジタルを活用したサービスの拡充

- マイページの機能拡充、会員登録推進
  - ・マイページ会員数約122万人<前年比179%>

#### シニアトップブランド構築を支える内務員の働き方改革の推進

##### 人的資本の充実

- 人材投資の充実
  - ・教育研修時間:54,156時間(前年比150%)
- 初任給の業界最高水準を実現(総合職)

##### 健康経営の推進

- ホワイト500認定(7年連続認定)
- クアオルトを活用した健康づくり
- (株)MCBIとの共同研究(健康増進・認知症予防)

##### 両立支援制度の充実

- 男性育休取得率:100%
- 平均取得日数:12.1日
- 通院休暇の取得(妊娠・出産・不妊・がん治療)

##### ワークライフバランス・働き方の多様化

- 女性活躍推進
  - ・女性管理職比率:20.2%
  - ・女性管理職研修の実施
- 有給休暇取得推進
  - ・平均取得日数:14.4日

## 4. 具体的取組み ～シニアトップブランド構築を支える働き方改革の推進～

項目	取組内容	成果
人的資本の 充実	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>総合職の初任給を増額</u><ul style="list-style-type: none"><li>・優秀な人材の確保および若手総合職の意欲の向上・定着を促すために、処遇の見直しを実施。</li></ul></li><li>○ <u>若手総合職の育成</u><ul style="list-style-type: none"><li>・集合型研修の実施など接点の拡大を図り、従業員同士のコミュニケーションの質・量の増大に資する施策を実施。</li><li>・社内外における教育機会を提供することで、若手総合職の成長意欲を促進。</li><li>・オンライン学習ツールの導入。</li></ul></li><li>○ <u>管理職の育成</u><ul style="list-style-type: none"><li>・新任課長を対象に業務運営の遂行に必要な意思決定プロセス等の習熟を目的とした研修を実施。</li><li>・高度なマネジメントスキルを体得するために、社外の教育機会を提供。</li></ul></li><li>○ <u>専門人材の育成</u><ul style="list-style-type: none"><li>・高い専門性を有した人材を育成するため、部門別教育(社外留学、資格取得支援)を実施。</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>2022年度の処遇改定</u><ul style="list-style-type: none"><li>・総合職の初任給を増額</li><li>・内務員全般の賞与を増額</li></ul></li><li>● <u>人材投資の充実</u><ul style="list-style-type: none"><li>・人材育成のための教育・研修にかかる投資を充実させた。 教育・研修時間:54,156時間 (前年比150.0%)</li></ul></li><li>● <u>若手総合職の各種人材育成施策の実施</u><ul style="list-style-type: none"><li>《年次別・職務別研修の実施》</li><li>《キャリア形成支援・成長支援》<ul style="list-style-type: none"><li>・1on1ミーティングの導入</li><li>・パルスサーベイの導入</li></ul></li><li>《自己啓発支援・公募・選抜型研修》<ul style="list-style-type: none"><li>・海外留学派遣:2名、社外留学:5名</li><li>・ビジネススクール派遣:18名</li><li>・オンライン教育ツール提供:199名</li></ul></li></ul></li><li>● <u>管理職・管理職候補者の育成</u><ul style="list-style-type: none"><li>・新任部長研修・ビジネススクール派遣</li><li>・新任課長研修・ビジネススクール派遣</li><li>・支社長候補者研修の実施</li></ul></li><li>● <u>DX人材の育成</u><ul style="list-style-type: none"><li>・データ分析専門チームの組成</li><li>・各部の若手総合職15名に研修を実施</li></ul></li></ul>

## 4. 具体的取組み ～シニアトップブランド構築を支える働き方改革の推進～

項目	取組内容	成果
<p style="text-align: center;">健康経営の 推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>健康経営優良法人(ホワイト500)認定</u> ・7年連続で認定取得。</li> <li>○ <u>クアオルトを活用した従業員の健康づくり</u> ・疾病予防や健康増進に効果のある「クアオルト健康ウォーキング」を推進。</li> <li>○ <u>従業員への疾病予防検査の実施</u> ・従業員の健康増進をサポートするため、アミノインデックス®リスクスクリーニングおよびMCIスクリーニング検査プラスを実施。</li> <li>○ <u>従業員の健康意識向上</u> ・健康スコアリングレポート結果において、全組合平均より劣後していた生活習慣項目を中心に、e-ラーニングを実施。</li> <li>○ <u>(株)MCBI、味の素(株)との共同研究</u> ・従業員のMCIスクリーニング検査結果、アミノインデックス®リスクスクリーニング結果、健診データ、レセプトデータ等を活用した共同研究を継続実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7年連続で認定取得</li> <li>● <u>クアオルト体験バスツアー(日帰り)</u> ・636名参加(12自治体) 山形県上山市、埼玉県横瀬町 静岡県小山町、岐阜県岐阜市 岐阜県関市、岐阜県飛騨市 愛知県岡崎市、三重県志摩市 滋賀県高島市、兵庫県多可町 岡山県新見市、宮崎県延岡市</li> <li>● <u>アミノインデックス®リスクスクリーニング</u> ・1,092名</li> <li>● <u>MCIスクリーニング検査プラス</u> ・1,743名</li> <li>● <u>全内務員対象のe-ラーニング</u> 「がんの予防と乳がんの基礎知識」 「適切な睡眠習慣・運動習慣」 「メンタルヘルスケア」 「高血圧・プレゼンティーズム等」</li> <li>● <u>(株)MCBIとの共同研究</u> ・従業員の健康増進・認知症予防に資する進捗成果を発表</li> </ul>

## 4. 具体的取組み ～シニアトップブランド構築を支える働き方改革の推進～

項目	取組内容	成果
<p>両立支援制度の充実</p>	<p>○ <u>男性育児休業の取得促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より育児に参加しやすい環境を整備するため、20日間の特別休暇を付与し、取得を推進。</li> </ul> <p>○ <u>各種両立支援制度の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事と治療(妊娠・出産、がん、不妊)の両立がより柔軟に図れるよう、通院休暇の時間単位取得を可能とし、利便性を向上。</li> </ul>	<p>● <u>男性育児休業の取得</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取得率:100%(2015年度から8年連続)</li> <li>・平均取得日数:12.1日(前年比+0.9日)</li> </ul> <p>● <u>通院休暇の取得</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠・出産:14名(71.7時間)</li> <li>・がん治療:23名(99.3時間)</li> <li>・不妊治療:11名(31.1時間)</li> </ul>
<p>ワーク・ライフ・バランスの充実</p>	<p>○ <u>スマートワークの推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な労務管理にもとづく総労働時間の適正化と有給休暇の計画的な取得によって、スマートワークを実現。</li> </ul> <p>○ <u>住環境の改善</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事への活力をより向上させるため、住環境の改善および職住近接を推進。</li> </ul>	<p>● <u>月間平均時間外労働時間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5.6時間</li> </ul> <p>● <u>有給休暇平均取得日数</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・14.4日</li> </ul> <p>● <u>代用社宅へのシフト推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社有社宅から代用社宅へのシフトを推進</li> </ul>

## 4. 具体的取組み ～シニアトップブランド構築を支える働き方改革の推進～

項目	取組内容	成果
働き方の 多様化	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>女性の活躍推進</u><ul style="list-style-type: none"><li>・管理職として活躍できる女性人材の育成および女性管理職の定着・意欲の向上を目的に、女性管理職研修を実施。</li></ul></li><li>○ <u>新たなワークスタイルへの対応</u><ul style="list-style-type: none"><li>・感染症対策と在宅勤務・サテライトオフィス勤務の両立を推進。</li><li>・「働く場所」・「働く時間」の多様化により、育児・介護等の時間確保や通勤時間短縮等、ワーク・ライフ・バランスの質向上を実現。</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>女性管理職研修</u><ul style="list-style-type: none"><li>・本社女性管理職研修 31名</li><li>・グループ女性キャリアデザインセミナー 7名 ※T&amp;Dグループ共同開催</li></ul></li><li>● <u>女性管理職比率</u><ul style="list-style-type: none"><li>・20.2%</li></ul></li><li>● <u>新たなワークスタイルの定着</u><ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナ第7波以降においても出社率を7割程度として在宅・サテライトオフィス勤務を推進し業務継続可能な体制を維持</li></ul></li></ul>



## 4. 具体的取組み ～【3本柱-①】人生100歳時代に適した商品・サービスの提供～

項目	取組内容	成果
お客様の 元気に資する 商品の開発	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>選択緩和型先進医療保険の発売</u><ul style="list-style-type: none"><li>・先進医療による療養を受けた時、先進医療にかかる技術料と同額を支払う。</li></ul></li><li>○ <u>告知緩和型死亡保険の発売</u><ul style="list-style-type: none"><li>・健康状態に不安のある方でも加入可能な死亡保険を発売。</li></ul></li><li>○ <u>事故割増死亡保険の発売</u><ul style="list-style-type: none"><li>・若年層、および責任世代で死因占率の高い災害死亡を上乗せ。</li></ul></li><li>○ <u>契約見直し対象保険種類の拡大</u><ul style="list-style-type: none"><li>・契約見直し対象保険種類に、「保険組曲Best既成緩和」「ひまわり認知症治療保険」「ひまわり認知症予防保険」を追加。</li></ul></li><li>○ <u>やさしい保険の加入年齢範囲拡大</u><ul style="list-style-type: none"><li>・加入年齢上限を75歳から、85歳へ引き上げ。</li></ul></li><li>○ <u>子供医療保険の発売</u><ul style="list-style-type: none"><li>・「スマ保険」「リモート申込」において、契約者と被保険者が別人となる子供の医療保険を発売。</li></ul></li><li>○ <u>終身死亡保険の発売</u><ul style="list-style-type: none"><li>・「スマ保険」「リモート申込」において、シニア層および責任世代でニーズの高い終身死亡保険を発売。</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>選択緩和型先進医療保険販売件数</u><ul style="list-style-type: none"><li>・84,836件(2022年5月～2023年3月)</li></ul></li><li>● <u>告知緩和型死亡保険販売件数</u><ul style="list-style-type: none"><li>・34,361件(2022年5月～2023年3月)</li></ul></li><li>● <u>事故割増死亡保険販売件数</u><ul style="list-style-type: none"><li>・3,062件(2022年5月～2023年3月)</li></ul></li></ul>

## 4. 具体的取組み ～【3本柱-①】人生100歳時代に適した商品・サービスの提供～

項目	取組内容	成果
お客様の 元気に資する サービス等 の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>MCIスクリーニング検査プラスの受診推進</u><ul style="list-style-type: none"><li>・検査受診を促すパブリシティを放映し、お客様への啓蒙・宣伝を実施。</li><li>・専用ランディングページURLを記載した、検査受診を促すSMSの送信を実施。</li></ul></li><li>○ <u>支社巡回健診時のお客様の検査受診を実施</u><ul style="list-style-type: none"><li>・「MCIスクリーニング検査プラス」「アミノインデックス®リスクスクリーニング」の受診機会を支社巡回健診時にお客様へ提供。</li><li>・同日に認知症セミナーも支社にて開催。</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>巡回健診時検査受診件数</u><ul style="list-style-type: none"><li>・780件(2022年8月～2023年3月)</li><li>・MCIスクリーニング検査プラス:599件</li><li>・アミノインデックス® リスクスクリーニング:181件</li></ul></li><li>● <u>2022年度累計検査受診件数</u><ul style="list-style-type: none"><li>・MCIスクリーニング検査プラス:1,625件</li><li>・アミノインデックス® リスクスクリーニング:315件</li></ul></li></ul>

## 4. 具体的取組み ～【3本柱-①】人生100歳時代に適した商品・サービスの提供～

項目	取組内容	成果
シニアサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>年1回の訪問サービスを実施</u><ul style="list-style-type: none"><li>・営業職員等によるシニアのお客様への訪問サービスを実施し、給付金の請求漏等の確認を行うことで安心を提供</li></ul></li> <li>○ <u>あんしんガイドの提供</u><ul style="list-style-type: none"><li>・訪問時にあんしんガイド(給付金請求等のご案内冊子)を持参し、ご家族登録制度や健康増進アプリ等の各種サービスのご案内を実施</li></ul></li> <li>○ <u>ヤマト運輸を活用したシニア訪問サービスの実施</u><ul style="list-style-type: none"><li>・近隣に支社がないなど営業職員等による訪問が困難なお客様を対象に、ヤマト運輸による「あんしんガイド」の宅配、および当社お客様サービスセンターによるフォローコールを実施</li></ul></li> <li>○ <u>認知症サポーター養成講座等の実施</u><ul style="list-style-type: none"><li>・認知症について正しく理解することによる応対力向上を目的に、キャラバンメイトの全支社配置と全支社職員を対象とした認知症サポーター養成講座を実施</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>年1回の訪問サービス実施</u><ul style="list-style-type: none"><li>・2022年度対象顧客数 332,328名</li><li>※74歳以上のシニアのお客様が対象</li></ul></li> <li>● <u>ヤマト運輸を活用した訪問サービス実施</u><ul style="list-style-type: none"><li>・訪問完了 3,635件(完了率 98.1%) (実施期間:2022年5月～10月)</li><li>※配送未了分は、郵送およびフォローコールを実施済</li></ul></li> <li>● <u>認知症サポーター養成講座等の実施</u><ul style="list-style-type: none"><li>・キャラバン・メイト登録者 206名</li><li>・認知症サポーター養成講座の受講者 8,645名</li></ul></li></ul>

## 4. 具体的取組み ～【3本柱-①】人生100歳時代に適した商品・サービスの提供～

項目	取組内容	成果指標
次世代サービス 基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>新顧客情報DBの整備</u><ul style="list-style-type: none"><li>・新顧客情報DBの管理対象を死亡保険金受取人・指定代理請求人へ拡大(2022年4月)</li><li>・新顧客情報DBにおける電話番号の一元管理開始(2022年7月)</li></ul></li><li>○ <u>新顧客情報DBを活用した業務システムの機能拡充</u><ul style="list-style-type: none"><li>・死亡保険金受取人・指定代理請求人までカスタマーIDを付番し、保険関係者を幅広く紐づけしたことによる業務システムの活用</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>新顧客情報DBの整備</u><ul style="list-style-type: none"><li>・新たに69.8万件の電話番号を一元管理</li></ul></li><li>● <u>業務システムの機能拡充</u><ul style="list-style-type: none"><li>・契約関連者を含めた改姓の一括処理開始(2022年4月)</li><li>・マイページによる死亡保険金等受取人等の変更手続き時の家族関係者のプレ表示(2022年10月)</li></ul></li></ul>

#### 4. 具体的取組み ～【3本柱-②】ITの活用・業務効率化によって創出したマンパワーを営業・サービスにシフト～

項目	取組内容	成果指標
LCの新たな働き方の確立	<p>○ LC(ライフカウンセラー)の新たな働き方</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・デジタルマーケティングを活用した顧客訪問や営業職員への連携強化、LC主体の集客施策の実施などにより、新規顧客獲得に向けた取組みを推進。</li><li>・支社LCのカウンセリング力強化を図るため、新たな資格「カウンセリングマイスター制度」を創設し取得を推進する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>LC挙績状況</u><ul style="list-style-type: none"><li>・成約件数:2,300件(前年同期:2,240件)</li><li>・挙績率:95.1%(前年同期:89.3%)</li></ul></li><li>● <u>セミナー開催状況</u><ul style="list-style-type: none"><li>・開催支社数:87支社 (前年同期:60支社)</li></ul></li><li>● <u>カウンセリングマイスターの資格授与</u><ul style="list-style-type: none"><li>・年間判定基準達成者:66名(3月末)</li></ul></li></ul>

## 4. 具体的取組み ～【3本柱-③】デジタルの活用による新しいチャネルの創設～

項目	取組内容	成果
<p>社会環境に対応した 営業の推進</p>	<p>○ 直販チャネルにおいて、以下のとおり実施</p> <p>＜インフォーマーシャル＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・告知緩和型死亡保険の発売に合わせ、草野仁氏起用の新CMを放映</li> <li>・健康情報番組「太陽生命Presents草野仁の名医が寄りそう！カラダ若返りTV」に一社提供</li> </ul> <p>＜スマ保険＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故割増死亡保険、告知緩和型死亡保険の発売</li> <li>・終身死亡保険、子供医療保険の発売</li> <li>・Web誘導型TVCMの出稿拡大</li> <li>・スマ保険稼働時間の延長を実施</li> <li>・視認性や操作性向上を目的に、スマホ利用者向けの試算画面、手続き画面、資料請求画面の改修を実施</li> </ul> <p>＜支社連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイレクト情報の一元管理システムを導入</li> <li>・LCリモートチームを設立</li> <li>リモート申込、SMSを活用した提案活動を開始</li> </ul>	<p>● スマ保険およびインフォーマーシャルにおいて、成約数、支社連携数ともに、前年実績を上回った。</p> <p>＜インフォーマーシャル＞</p> <p>成約数：32,940件（前年比189.5%） 支社連携数：103,765件（前年比166.7%）</p> <p>＜スマ保険＞</p> <p>成約数：48,440件（前年比238.1%） 支社連携数：112,235件（前年比177.1%）</p>

## 4. 具体的取組み ～【3本柱-③】デジタルの活用による新しいチャネルの創設～

項目	取組内容	成果指標
マイページを活用したサービスの拡充	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>マイページの会員登録推進</u><ul style="list-style-type: none"><li>・ポステックスによる会員登録勧奨 契約者（2022年9月、2023年1月） 被保険者（2022年8月） 登録家族（2023年3月）</li></ul></li> <li>○ <u>マイページの機能拡充と利用推進</u><ul style="list-style-type: none"><li>・保険証券の電子化（デジタル証書）の取扱い開始（2022年4月）</li><li>・死亡保険金等受取人・指定代理請求人の変更手続き開始（2022年10月）</li><li>・保険料口座振替手続きの開始（2023年2月）</li><li>・SMS・e-mail・ひまわり通信等によるマイページ利用推進（通年）</li></ul></li> <li>○ <u>ネット完結型の給付手続きの推進</u><ul style="list-style-type: none"><li>・マイページ上で、被保険者からの給付金請求手続きを推進</li><li>・給付金請求書の案内文など各種帳票へのPR文を掲載</li></ul></li> <li>○ <u>マイナポータルを活用した「生命保険料控除証明書」の電子交付と利用拡大</u><ul style="list-style-type: none"><li>・年末調整者、確定申告者、マイページ会員を対象にチラシ、ポステックス、HP、サービスガイドブック、おしらせ機能等によりPRを実施</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>マイページ会員数</u><ul style="list-style-type: none"><li>・約122万人</li></ul></li> <li>● <u>マイページの機能充実と利用推進</u><ul style="list-style-type: none"><li>・デジタル証書発行件数 84,065件</li><li>・改姓手続き 892件</li><li>・契約内容照会件数 179,271件</li><li>・住所変更手続き件数 10,533件</li><li>・契約者貸付等手続き件数 13,758件</li><li>・死亡保険金等受取人・指定代理請求人変更手続き件数 721件</li><li>・ひまわり通信の電子交付 約17万人</li><li>・「太陽生命マイページ/マイページ給付請求手続き」が、UCDAアワード2022アナザーボイス賞を受賞</li></ul></li> <li>● <u>ネット完結型サービスの提供</u><ul style="list-style-type: none"><li>・ネット給付金請求手続き 7,686件 （うち、被保険者 436件）</li><li>・マイページ本会員の給付請求の20.2%</li></ul></li> <li>● <u>マイナポータル連携サービス利用者</u><ul style="list-style-type: none"><li>・6,540名</li></ul></li></ul>

## 4. 具体的取組み ～元気・長生きに関するその他の取組み～

項目	取組内容	成果
<p>日本医師会 赤ひげ大賞 への協賛</p>	<p>○ <u>医師の功績を顕彰する事業の支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域のかかりつけ医として住民の疾病予防や健康の保持増進に努めている医師」、「離島や地域での活動等、地域の現場医療に貢献した医師」を表彰する事業を支援することで、社会の元気に貢献。</li> </ul>	<p>● <u>救急医療の啓蒙活動実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本医師会作成の「救急カード」に協賛し、約20万部に当社広告が掲載。</li> </ul>
<p>認知症 セミナーへの 協賛</p>	<p>○ <u>メディア主催の認知症セミナーに協賛し、当社取組みや認知症について周知・啓蒙を実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の情勢に鑑み、対面・WEB併催するなど、広く周知を実施。</li> </ul>	<p>● <u>認知症セミナーの実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度は9月に2回（東京、大阪）開催し、当社取組みや認知症について啓蒙を実施。</li> <li>・約1,400名参加（対面200名、WEB1,200名）。</li> </ul>
<p>クアオルト 健康ウォーキン グアワード</p>	<p>○ <u>クアオルト健康ウォーキングアワードの実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命の延伸、交流人口の増大を目指す地方自治体の支援を目的として実施</li> <li>・優秀な自治体を表彰し、「クアの道」の整備を行う。</li> </ul> <p>○ <u>”クアオルトかみのやま”未来シンポジウムへの参加</u></p>	<p>● <u>2022年度のアワードで2自治体を選定</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県下呂市</li> <li>・長崎県西海市</li> </ul>



## 4. 具体的取組み ～元気・長生きに関するその他の取組み～

項目	取組内容	成果
女性応援 スポーツ協賛 社会貢献	<p>○スポーツを通じた女性応援、青少年の育成、社会貢献の実施</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ラグビー女子日本代表への協賛</li><li>・アイスホッケー女子日本代表への協賛</li><li>・アイスホッケー教室を岡山市・盛岡市と共同開催</li><li>・テレサ・ルーとのスポンサー契約</li><li>・太陽生命 元気・長生きカップの開催</li><li>・太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2022への特別協賛</li><li>・「太陽生命 JAPAN RUGBY CHALLENGE SERIES 2022」への特別協賛(新規)</li><li>・太陽生命カップ2022(中学生ラグビー)への特別協賛</li><li>・全国U18女子ラグビーフットボール大会に協賛</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●「<u>スポーツエールカンパニー2023</u>」認定 ・2017年より6年連続認定取得</li><li>●「<u>東京都スポーツ推進企業2022</u>」認定 ・2015年より8年連続認定取得</li></ul>

## 4. 具体的取組み ～元気・長生きに関するその他の取組み～

項目	取組内容	成果
<p style="text-align: center;"><b>環境活動</b></p>	<p>○ <u>脱炭素に向けた取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー電力の供給率向上。</li> </ul> <p>○ 「<u>太陽生命の森林</u>」における森林保全活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員ボランティアによる森林整備を実施</li> <li>・地元小学校と協働で行う「どんぐりプロジェクト」を実施(どんぐりから苗木を育て卒業時に植樹)。</li> </ul> <p>○ <u>ライトダウンの実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ、CO2削減の観点から、グループ合同で18時消灯を推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>脱炭素に向けた取組</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度末電力の再エネ比率17.2%に向上(2021年度末 8.5%)</li> <li>目標:2030年度までに60%</li> <li>※再エネ=非化石証書付再生可能エネルギーとして算出</li> </ul> </li> <li>● 「<u>太陽生命の森林</u>」における森林保全活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県那須塩原市「太陽生命の森林」CO2吸収量 約19t/年間 「いのち輝く明るい森林づくり」実施(10月)</li> <li>・滋賀県高島市「太陽生命くつきの森林」CO2吸収量 約87t/年間 「恵み豊かな里山林づくり」実施(4月)。 「どんぐりプロジェクト」実施(10月、11月) 「アカマツ林再生プロジェクト」実施(11月)</li> </ul> </li> <li>● <u>ライトダウンの実施</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ合同でライトダウンを実施</li> </ul> </li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>社会貢献活動</b></p>	<p>○ <u>献血運動の実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ合同で献血運動を実施。</li> </ul> <p>○ <u>日本ダウン症協会への支援の実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダウン症セミナー等への支援を実施。</li> </ul> <p>○ <u>石巻復興商品の社内斡旋</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻復興商品の販売支援を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>献血運動の実施</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークや在宅勤務が多い中、260名の献血協力</li> </ul> </li> <li>● <u>日本ダウン症協会への支援の実施</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダウン症支援セミナー等への支援を実施</li> </ul> </li> <li>● <u>石巻復興商品の社内斡旋</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上貢献:290万円(10月14日～12月9日)</li> </ul> </li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>物資の寄贈</b></p>	<p>○ <u>発展途上国等への物資の寄贈・寄付</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の支社・本社より物資を収集し、発展途上国に寄贈。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>発展途上国等への物資の寄贈・寄付</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国の従業員から物資を収集 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本・CD・DVD等 約700点</li> <li>・ランドセル 約 50個</li> <li>・使用済み切手 2kg</li> <li>・書き損じハガキ 224枚</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

## 4. 具体的取組み ～元気・長生きに関するその他の取組み～

項目	取組内容	成果
<p>持続可能な社会の実現に向けた資産運用の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 持続可能な社会の実現に貢献するため、責任投資原則(PRI)<sup>(*1)</sup>、日本版スチュワードシップ・コード<sup>(*2)</sup>にもとづき、資産運用において以下の取組みを実施。</li> <li>○ ESGをテーマとした投融資の実施 グリーンボンド<sup>(*3)</sup>、ソーシャルボンド<sup>(*4)</sup>等へのESG投融資を通じて、持続可能な社会の形成・発展に貢献。</li> <li>○ 投資先企業への働きかけ 投資先企業の持続的成長を促すため、サステナビリティに関する課題もふまえ、以下を重点に、投資先との対話を実施。  (重点取組事項) ・議決権行使に関する対話 ・投融資先のCO2排出量削減への取組に関する対話</li> </ul> <p>(*1) 投資の意思決定等に際して、ESG(環境・社会・企業統治)の課題を考慮する事で、より優れた投資効果と持続的な金融市場を実現することを目的とする、国連が支援する原則。</p> <p>(*2) 機関投資家が投資先企業との対話を通じて、当該企業の企業価値向上や持続的成長を促すことで中長期的な投資成果を図る目的で金融庁が策定する諸原則。</p> <p>(*3) 環境問題の解決に資金用途を限定した債券。</p> <p>(*4) 福祉、教育などの幅広い社会的課題解決に資金用途を限定した債券。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ESGをテーマとした投融資の実施 ・取組実績:690億円 ・当社のESG投融資基準を満たす案件を丁寧に積み上げることで、収益性を維持しつつ、金額目安を確保</li> <li>● 投資先企業への働きかけ ・議決権行使に係る対話実施 国内上場株式投資先:24社 (2022年7月～2023年6月)  &lt;投融資先のCO2排出量削減への取組に関する対話&gt; 当社持ち分CO2排出量の上位50社を対象に、原則対面での対話を実施。</li> <li>● 新たなイニシアティブへの参画 ・PRIの新たな取組み「人権に関する協働エンゲージメント(Advance)」について、「承認者」として参画し、人権に関する取組を強化。</li> </ul>

## 4. 具体的取組み ～元気・長生きに関するその他の取組み～

項目	取組内容	成果
<p>良質な 高齢者住宅 の建設</p>	<p>○ <u>介護事業者と連携し高齢者住宅を建設・提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保有不動産の収益性向上を目指した有効活用の観点から、当社が質の高い高齢者住宅を建設し、サービス面で実績のある介護事業者へ長期一括賃貸することで、良質な高齢者住宅を提供</li> </ul>	<p>● <u>ベネッセスタイルケアとの協業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休不動産について協業の検討や新規案件の情報収集</li> </ul>
<p>環境に配慮した 不動産投資の 推進</p>	<p>○ <u>環境に配慮した不動産投資</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新築ビル建設において環境認証制度の取得を目指す</li> <li>・LED照明、エネルギー効率の高い設備(空調等)を導入するなど環境に配慮した設備投資</li> </ul>	<p>● <u>環境に配慮した不動産投資の実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢支社新築工事の計画段階において最新の省エネ設備等の導入により、認証制度の「ZEB Ready」を取得</li> <li>・上期に工事発注を行ったLED(7物件)、空調(6物件)の工事完了</li> </ul>
<p>物資の寄贈</p>	<p>○ <u>災害時用非常食の寄贈</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本橋ビル・タワーにテナント用として備蓄している非常食を寄贈</li> </ul> <p>寄贈品: 五目ごはん、わかめごはん等</p> <p>寄贈先: セカンドハーベスト・ジャパン 日本初のフードバンクで食品ロスを引き取り人々へ届ける活動を行うNPO法人</p> <p>理由: 非常食が賞味期限を迎えるため、食品ロスの削減とNPO法人を通じた社会貢献活動のため</p>	<p>● <u>寄贈の実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月27日に寄贈を実施</li> </ul>